

新規恒久5施設の経営改善に向けた専門委員会（第一回） 議事要旨

- 1 開催日時 令和5年1月12日（木曜日）13時から14時45分まで
- 2 開催場所 オンライン開催（東京都庁第一本庁舎 15階会議室）
- 3 出席委員 守泉誠委員、原田宗彦委員、上代圭子委員、笹井裕子委員、柏原弘幸委員（6名中5名出席）

4 会議内容の概要

（1）開会挨拶・趣旨説明

開設準備担当部長より新規恒久5施設（※）の収支改善、及び施設利用の拡大に関する施策についてご意見を頂きたい旨を説明

※ 新規恒久5施設：海の森水上競技場、夢の島公園アーチェリー場、カヌー・スラロームセンター、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場、東京アクアティクスセンター

（2）委員紹介（委員長互選）

原田委員を委員長に選出

（3）議事

①これまでの経緯について

柏原委員より各施設の収支状況や、これまでの都の収支改善や利用拡大に向けた取組について説明

【委員の主な意見】

- ・収益性も大事だが、公共施設として社会的意義を追求することも重要である。
- ・競技大会の開催だけでは利益が出にくい。一般の人にも幅広く使って貰うことが必要ではないか。
- ・インフルエンサーの活用や、競技大会やイベント開催時にプロモーショングッズの配布を行う等、広報活動に力を入れるということも策の一つとして考えられる。
- ・地元で利用される施設とするために地域のクラブ活動を置くというアイデアもある。また、最新の動向である運動部活動の地域移行というチャンスを活かしてはどうか。
- ・複数施設を一括で広報することは効果的。マッチングビジネスの会社と組んで、一括でプロモーション進めることも有効だと思う。

②今後の方向性の検討について

【委員の主な意見】

- ・フェスイベントの開催地を探している事業者は結構いる。施設の利用条件等を周知出

来ると良いと思う。

- S2O（タイの水掛け祭り）やパンのフェスティバル等、バラエティに富んだイベントの事例がある。幅広くイベントのアイデアを集める機会があると良いのではないか。
- フェスイベントはプレイスメイキングであり、経済的効果も大きいですが、社会的効果はより大きい。
- 社会的に意義がある事業を企画し、寄付を募るという発想もある。またクラウドファンディングや、法人のふるさと納税等の様々な手法があるので、柔軟な発想が必要。